

フラワーエッセンスは、”本来の自分を思い出す”ことを促す、癒しの水です。

フラワーエッセンスは、心のケアに使われる、花の性質を水に写しとったものです。

古来からオーストラリアのアボリジニや、ネイティブアメリカンといった先住民族達が、自分の心と自然との調和を保つために、またそこから外れてしまったときに再び心の調和を取り戻すために、花びらについての朝露を飲んだと言われています。「花びらについての朝露」。これがフラワーエッセンスの原点です。

空気中の水蒸気が清らかな水滴となって花びらにつき、そこに朝の太陽の光があたるとき、開花とともにその水滴が花の純粋なエネルギーで満たされていきます。水は目には見えないもの、微細なエネルギーを写し取る媒体として働きます。この花の性質が写し取られた水がフラワーエッセンスです。

では、なぜ「花」のエネルギーが心のもつれをほどいてくれるのでしょうか。

人は本来自分の内に感じていた「自然な感覚」よりも、外の世界の「正しいこと」「目に見える物」ばかりを拠り所にして生きているうちに、本来の純粋な「感覚」を次第に見失っていきました。

「正しい」「悪い」の葛藤。それが不安の原因となり、さらに「より確かに思える正しさ」の中に安心を求め続け、がんばってそこに答えを見出そうとしますが、それがいよいよ自分を見失わせ、その葛藤から抜けられなくなってしまいます。人は常に、“善悪正邪”の葛藤の中でもがき、出口を探し続けています。

でも。

本当の答えは「正しさ」の中にあるのではなく、忘れてしまった自分の中の自然な「感覚」にあります。

植物は葛藤することなく、ただ純粋に「自分」という存在を思う存分表現し、喜びとともに花を咲かせます。フラワーエッセンスは、人々が失いかけているそんな自然な心の感覚を呼び覚ましてくれるのです。

心の時代といわれる昨今、フラワーエッセンスは世界中に広まりつつあり、心理カウンセラーやセラピストをはじめ、海外では医療機関でも精神的なケアに使われるようになりました。

花のエネルギーに満たされたこの「花びらの朝露」は、抱えてしまった精神的な重荷を降ろし、私たちが本来持っている自分の輝きを最大限に表現しながら生きることを促し、助けてくれます。

自分を「正そう」とする戦いをやめ、手放し、ただ自分の中にあつた本来の感覚に目覚めていくことこそが、悩みや問題を本当の意味での解決へと導いていきます。

フラワーエッセンスは、本当の自分を思い出すための、まさに自然からの贈り物です。

